

12/6 に成人教育部による後期講習会、防災訓練を実施しました。

その際、参加会員より質問を募集し、消防署員の方より回答をいただきましたので内容を掲載いたします。  
会員の皆さまの防災における一助となれば幸いです。

#### 【消火活動について】

Q： 個人宅でも消火器を常備する場合、どれくらいのサイズがおすすめですか。

A： 個人宅の消火器は直径約 10cm、高さ 40cm くらいの 3 型・4 型やスーパーマーケットなどでよく見られる 10 型の粉末消火器がおすすめです。

強化液消火器という消火器もあり、てんぷら油の火災に特化しており、冷却効果に加え、水面に幕を作り、酸素を閉鎖する窒息効果があります。しかし、てんぷら油の火災や紙くずや木材の火災には適応していますがコンセントから出火したような電気火災には適応していません。

Q： 揚げ油の火災のような場合、火にかけてからどれくらいで燃え上がり始め、初期消火できなくなりますか？その場合、被害を最小限に抑えるためにすべき行動はありますか。緊急通報のあと、窓を閉め切るなど対処した場合の効果のほどは？

A： 揚げ油の火災の場合、火にかけた時間ではなく、自然に燃え上がるのは温度が大きく関わってきます。揚げ油の自然発火温度は約 370℃から 405℃で揚げ物をしている時より 200℃ほど高いです。ですから、一概に何分で燃え上がるとは言えません。

初期消火が出来なくなる目安ですが天井に火が昇ってしまうと消火が困難になります。その場合は避難を最優先にしてください。調理中はその場を離れないようにして、どうしても離れるときは火を消して離れるようにしてください。

Q： 以前、揚げ油火災の時に「濡れたバスタオルと被せる」や「マヨネーズをボトルごと入れる」と効果があると聞いたことがあるのですが、実際どこまで有効ですか。

A： 「濡れたバスタオルをかぶせる」についてですが濡れたバスタオルを被せることで、燃焼に必要な酸素の供給が失われることにより窒息の効果があり消火ができます。しかし、慌ててしまうと鍋をひっくり返してしまう可能性があるため、注意してください。

「マヨネーズをボトルごと入れる」についてですが、主成分がサラダ油のマヨネーズを入れ「揚げ油を十分に冷やすだけの量を注ぎ込むことができ」、さらに「揚げ油が容器(鍋)からあふれ出さない」という条件が満たされた場合のみ消火に成功することができるため、決してマヨネーズが消火の性能を持っているわけではありません。消えることもあります、条件によってはより危険になる場合があるのでおすすめはできません。

Q： 地震時における（自宅での）正しい対応

A： 大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたりしたら、まず家具やガラス面から離れクッションや雑誌で頭を保護し、机の下に入るなどして、身を守り揺れがおさまるまで待ちます。揺れがおさまってから台所やストーブの火の始末をし、ブレーカー・ガスの元栓をきります。その後に家族の安全の確認・確保をし、災害情報と非難情報の入手、避難可能な出口の確保を行い、指定の避難場所に向かうようにしましょう。

## 【AED・心肺蘇生法について】

Q: 出先などあまり知らない土地へ行ったときに AED の処置が必要になった場合、どのような施設なら AED が設置してあるのか教えてください。

A: 消防署・学校・市役所・駅などの公共機関に AED は設置されています。  
松戸市では 24 時間営業のコンビニやガソリンスタンドなどにも設置されているところが多いです。119 番通報をした消防本部の人に聞けば駅や公共施設を教えてください。

Q: エコノミー症候群の疑いのある人を救出するシチュエーションがあった場合、どのように対処すればいいですか。

A: 119 番通報をして救急隊を呼んでください。救急隊が来るまで呼吸の確認、脈の確認をして、最悪心停止の可能性がありますので AED の準備、心肺蘇生法の準備をしてください。

Q: 乳児や小児、高齢者の心肺蘇生や AED を行う場合、成人の処置と相違する点や留意点はありますか。

A: まず成人の心肺蘇生法ですが 1 分間に約 120 回のペースで胸骨圧迫を行い、その後人工呼吸を 1 秒間かけて吹き込みます。それを 30:2 の割合で強く・早く・絶え間なく行います。

心肺蘇生法は成人・小児・乳児の年齢に関係なく手順が統一され、より簡素化されているため幼児などに行う場合も同じ手順で行います。

ただし、胸骨圧迫の仕方が成人は手根部とって手のひらの硬い部分で行うのに対し、乳児に対しては片手を額に当て指 2 本で行います（小児は必要に応じて片手または両手で行います）。押す深さにも違いがあり成人は約 5cm（乾電池 1 個分）ですが幼児などは胸の厚さの 1/3 ほど圧迫します。

AED も同様に使用の仕方に違いはありませんがパットが小児用と成人用があるものや AED 本体に成人モード、小児モードの切り替えがあるものがあります。小児に対して AED を使用する際には小児用パットを貼るか成人モードと小児モードが分かれている場合は小児モードにして使用するようになっています。ただし、小児モードがなく小児用パットもない場合、成人用を使用しても問題はありません。（参考資料：<http://aed.jaam.jp/option.html>）

成人用を小児に使用する際にはパットの大きさが違うのでパット同士がくっついてしまう場合は胸と背中に貼るようになっています。高齢者の方も成人の対応と同じです。

簡易版の心肺蘇生法要領を携帯電話でご覧いただけます。

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/mobile/aed.html>

QR コードシールは市内消防署で無料配布しています。なお、データ取得には通信料がかかります

## 【最後に】

いざというとき、なかなか動けないものですが、迅速な救命措置の有無が助かる可能性を左右します。

# 『 勇気をだして 応急手当 』

あなたの勇気が命を救います。また、救急車の適正利用にもご協力ください。